

新たな振興策・経営改善策に関する意見への対応

区分	委員・競馬関係者からの意見		具現性について(案)		
			速やかな対応が必要	対応に向けて検討が必要	左欄の理由
基本的事項	1	ファンの意見(生の声)を聴く機会をつくる	○		① ファンの声を聞くため、提案箱を設置し、その対応を場内に掲示している。また、ホームページでも、随時、提案をもらえる形をとっている。 ② 毎年、入場者へのアンケートを行っているが、その内容や方法について、今後とも検討していくべきである。 ③ 本検討委員会の取りまとめに対するパブリックコメントの実施についても検討すべきである。
	2	各種業務の分析、改善 開催曜日、開催回数の検討 臨時、嘱託等の採用による正規職員の減、(人件費率を下げることの検討:他場と比較) 委託方法、委託料の検討	○		① 開催曜日については、ファンへの周知性を高めることや収益性を考慮し、固定する形で検討すべきである。 ② 開催回数については、17年度の状況も踏まえながら、更に検討すべきである。
			○		人員の効果的・効率的配置と人件費の圧縮について、更に検討すべきである。
			○		既定の概念にとらわれず、委託方法等について検討すべきである。
	3	場間場外発売(本場非開催日)における収支バランス(1日単位)の検証	○		現在、場間場外は全て黒字となっているが、さらに有利な相手先との連携について、今後とも検討していくべきである。
4	社会の経済動向(景気、GDPなど)と売得額との経時変化の整理(今後の景気変動の予測により、売得額を把握するため)	○		社会経済動向との関係を把握するため、経済指標を活用したトレンド分析を行うべきである。	
振興策	1	専用場外発売所の設置(宝くじ感覚、JRA・車券・舟券の併売、県・市の施設内も視野に入れて)		○	場外発売所での発売は有効手段であると考えられるが、地元の合意取付や経費、運営のあり方などの問題について検討が必要である。
	2	中央競馬の発売		○	競馬法の改正により、中央競馬との間で相互に販売を受委託できるようになったが、地方競馬側にとって収益面でのメリットが薄いことや、ファンの馬券購入資金が、中央競馬に流れるといった懸念材料が考えられることから、十分な検討が必要である。
	3	ナイター競馬開催の可能性(事例調査、実績など)		○	ナイター競馬を開催するためには、照明装置の新設、受電設備の改修、自家発電設備の新設などに15億円程度は必要というこれまでの試算もあり、その財源や維持費を含めた採算性も考慮しながら、十分な検討が必要である。
	4	思い切った施設の改修 (明るく健全なイメージ、現代的で清潔感のある雰囲気)	○ (一部)	○ (一部)	① 売場や観覧席を、女性客や家族連れが利用しやすいように改修することは、新規ファン獲得に効果があると考えられる。 なお、これらの施設整備を行う場合には、運営収支に反映させないことを前提に、財政調整基金の活用なども検討すべきである。 ② レストランについては、民間事業者の誘致や設置場所の確保、既存事業者の取扱いといった課題があり、今後、更なる検討が必要である。
		トイレ、壁の色、床等	○		上段①と同様
		ゲームセンター、保育室等 (子供連れや若者向けに1日中遊べる施設)		○	ゲームセンターの設置については、民間事業者の誘致や設置場所の確保、採算面といった課題がある。 保育室の設置については、保育士の確保や運営経費といった面で、今後、更なる検討が必要である。
		お酒落な飲食店、ファーストフード店の出店(若年層対策)		○	飲食店やファーストフード店の出店については、民間事業者の誘致や出店場所の確保、既存事業者の取扱いといった問題があることから、今後、更なる検討が必要である。
		エスカレータの設置(高齢者対策)		○	設置費(約2億5千万円)に加え、関係法の基準を満たすための大規模な改修が建物全体において必要となることから、費用対効果について十分な検討が必要である。
		喫煙場所の限定(基本的には全面禁煙:3F観覧席と同様に)		○	分煙については、現在、一部進められているが、さらに、利用者の理解を得ながら拡大を検討すべきである。
		遊園地の改修(大型遊具、水遊び場、休息できる木陰)		○	大型遊具や水遊び場などの設置については、家族連れのファンを獲得する上で効果があると思われるが、経費の問題や競馬開催時の支障面などについて、更なる検討が必要である。

新たな振興策・経営改善策に関する意見への対応

区分	委員・競馬関係者からの意見		具現性について(案)			
			速やかな対応が必要	対応に向けて検討が必要	左欄の理由	
振 興 策	5	競馬場近隣への大型集客施設(スーパー、家電店、ゲームセンター等)誘致等の周辺環境の整備		○	競馬場近隣への大型集客施設誘致については、競馬ファンの獲得といったことだけで論じるような話ではなく、誘致する企業、立地条件、採算性の確保といった大きな課題がある。	
	6	施設の多目的利用 (各種イベントの企画、開催 子供や若い女性が楽しめる競馬場に併せて入場料の無料化)	競馬まつりの開催 (騎手サイン会、野菜市、馬とのふれあい体験、 フリーマーケット、巨大迷路、花火大会など)	○		現在、フリーマーケットや野菜販売等を随時開催しているが、今後とも各方面からの提案等も得ながら、更に工夫すべきである。
			結婚披露宴、各種パーティー		○	競馬場の有効活用策としては、有効な手段と考えられるが、利用頻度など採算性や施設、飲食部門の整備など、今後、更なる検討が必要である。
			コンサート(全国区のタレント、地元大学のバンド等)		○	過去に実施例もあり、一定の誘客効果はあると考えられるが、競馬への支障の有無や費用対効果等について、検討が必要である。
			野外彫刻展(金沢美大等との連携)	○		競馬場への誘客効果があると考えられ、新たな競馬ファンを開拓するためにも、関係機関(金沢美大等)に働きかけるべきである。
			子供たちの遠足、民間企業の懇親会、グランドゴルフ等	○ (一部)	○ (一部)	① 馬場中央部の遊び場や芝生広場の利用については、現在、一般県民に無料解放しており、利用について広くアピールすべきである。 ② スポーツやバーベキュー広場としての利用については、施設整備費用や競馬開催時の支障などについて、今後、更なる検討が必要である。
		地元特産品や人気商品の限定発売(競馬以外の要素の追加)		○	競馬場内での地元特産品などの販売については、事業者の誘致や出店スペースの確保、既存事業者との調整など、今後、更なる検討が必要である。	
	7	在厩馬の安定的な確保 (スターホース、スター騎手の育成)	賞金、出走手当の引き上げ		○	① 毎年、減収傾向となっている現況下においては、難しい。 ② しかし、最終的にファンや収入の増につながるようになるのであれば、経費増の対応も含め、関係者と十分に調整していく必要がある。
			馬主の所得制限(500万円以上)の緩和		○	① 所得制限は、競走馬を継続的に預託することが必要なために設けられている制度である。 ② 当該制度は、地方競馬全体に共通したことであり、今後、関係機関との協議が必要である。
	8	レース編成の見直し(力の均衡、短距離レースの実施、重賞レースの増)		○ (一部)	○ (一部)	① これまでも格付け方法の変更や距離の多様化等により魅力あるレースの提供に努めているが、今後、力の均衡した馬によるレースや短距離レースなど、更に工夫を凝らすべきである。 ② 重賞レースについては、経費の圧縮という観点から順次減らしてきたという経緯があり、現状では、増加させることは難しい。
	9	賭式の単純化(お金の回転を生むように)			○	平成15年より、3連勝式を導入し、昨年度の売上げの約3割を占めている状況である。今後ともファンのニーズに合わせた対応が必要である。
	10	馬場の改修(アップダウンのあるコース)			○	変化のある馬場に改修するには、改修費用に加え、高低差や設定距離といった物理的な可否など、十分な検討が必要である。
11	インターネット(ホームページ)の充実	馬券発売、ライブ中継(観戦)	○		今年5月より、ホームページにおいてライブ映像の配信を行っている。また、馬券発売(D-net)についても、これまで以上に使い勝手の良い新システムが10月より稼働しており、今後、更に工夫すべきである。	
		電話投票の周知徹底	○		各種広報等を行っているが、更に効果的な周知方法等を検討すべきである。	
		海外向け発信(外国語版)		○	インターネットに限らず、海外観光客を取り込む方法を様々な視点から検討することが重要である。	
12	初心者対策を充実させる。 (ハード、ソフトの両面から)	素人用に出走馬データを簡単に検索できるシステムの導入。 (馬券購入方法も併せて説明)	○		① インターネット上では、必要な情報を観ることが出来ることとなっている。 ② 競馬場内に初心者向けの検索用機器を設置するといったことについて、検討すべきである。	
		初心者専用窓口を設置する。 (案内窓口、説明ガイドによる購入方法のレクチャー等)	○		① 初心者向けに、競馬体験教室を年10回程度開催している。 ② 現在、案内窓口で各種のPRを行っているが、今後、より効果的な方法を検討すべきである。	

区分	委員・競馬関係者からの意見		具現性について(案)			
			速やかな対応が必要	対応に向けて検討が必要	左欄の理由	
振興策	13	ポイントカードの発行等によるサービス化、特典化 (入場、馬券購入の回数や金額によりポイントを貯め、景品がもらえる)	○		すでに、ハッピーポイントカードを発行し、景品の交換を行っており、今後、更なる工夫を検討すべきである。	
	14	金沢競馬サポーターズクラブ(仮称)の結成 (会費等を無料とするかは検討)		○	現在、金沢競馬には、優駿ファンクラブ、レディースクラブ等があるが、どのようなサービスを提供するか等、組織の充実についても検討が必要である。	
			「ハッピーくん通信」とは別に、金沢競馬を応援する会員組織を結成 クラブ会員には、「ハッピーくん通信」と同様な情報、入場料の無料化等のサービスを提供		○	上段と同様
	15	クリーンキャンペーンの実施 (外れ馬券の再利用)		○	景品表示法との関係もあり、実施方法について十分な検討が必要である。 (ハッピーポイントカードと連携した方式等)	
	16	モバイル端末等の活用	マイレージ方式(一定の枚数)で景品 抽選会への応募 (後日、当選者を掲示発表することにより再来場を促す)	○		一部実施済み。(18年度実施に向け、詳細について検討すべきである。)
			携帯電話や貸出用モバイルで出走馬の情報やオッズが好きなきに見ることができる		○	携帯電話については、既にオッズ等を見ることができるコンテンツ(有料)がある。
			特別観覧席の各席に端末を設置し、自分の席で投票することができる タッチパネルやビデオ方式で出走馬や騎手の紹介が気軽に見ることができる。		○	① 購入、払戻にかかる入出金を各席で行うことは困難である。 ② 全国の公営競技で実施している主催者としては、現在のところ見あたらない。
	17	馬券購入・払戻等に対するICカード化(パチンコの預球方式)		○	ファンサービスの一環として、騎手等を紹介することは重要であるが、紹介方法については、費用対効果について十分な検討が必要である。	
	18	競馬のイメージを改善するPR方法	カード化については、その手法や費用対効果について十分な検討が必要である。		○	
			サラブレッド＝芸術品(美しさ、躍動感)を強調	○		広報媒体、方法等について、検討すべきである。
収益の仕組みをわかりやすく説明(ギャンブルイメージの払拭) 100円でも30分(レース間隔)楽しめる手軽さ			○		上段と同様 上段と同様	
19	マスメディアを媒体とする広告宣伝 (若年層、女性の集客増大)	新聞(地方紙、全国紙、スポーツ紙)、テレビ(CF作成のうえ放映)、パソコン等	○		効果的、効率的な方法について、検討すべきである。	
		タウン情報誌や情報番組での紹介 (施設、馬の紹介や競馬体験レポート)	○		上段と同様	
		別途の金沢競馬インフォメーション、文化施設等における掲示等	○		上段と同様	
20	金沢競馬場のネーミング、ロゴマークの周知 (あることを知らない人が大勢いると思うので広報活動をもっとすればどうか)	○		更なる周知に努めるべきである。		
21	場内における酒類販売の適否	○		① ファンの要望により、平成15年8月からビールに限り販売を許可してきた。 ② 酒類の販売適否の検討の一方、これまでのところ大きなトラブルは発生していないことから、今後、種類の拡大等の是非についても併せて検討すべきである。		
22	金沢駅からの乗合タクシー制度、タクシー及び乗合バスの定額化		○	来場者のほとんどが自家用車であり、ファン送迎バスの利用者が減少傾向にあるなかで、乗合制度の需要調査やタクシー会社等との十分な協議が必要である。		
23	観光コースへの取り込み		○	効果的な方法等について、観光会社等の意見も聴きながら、十分な検討が必要である。		

新たな振興策・経営改善策に関する意見への対応

区分	委員・競馬関係者からの意見		具現性について(案)			
			速やかな対応が必要	対応に向けて検討が必要	左欄の理由	
経営改善策	1	各種業務の民間委託による経費削減(IT関連企業との連携等)	○		① 競馬法改正に伴い、各種業務の委託が可能(規制緩和)となったことを受け、民間活力を導入することによる運営手法の改善、業務の効率化が期待でき、導入について検討が必要である。 ② なお、IT企業との連携については、全国的な取り組みとして、他の地方競馬と共に、更に検討すべきである。	
	2	入場者のマナー向上(清掃にかかるコスト削減)	○		ファンの理解を得ながら、効果的なPR方法(PRポスターや場内放送等)について検討すべきである。	
	3	ファン送迎バスの効率的な運行ルートの検討(経費の削減)	○		毎年、見直しを行っているが、更に工夫すべきである。	
	4	各種料金の見直し	入場料金(100円)、特別観覧席(1,000円)	○		① イベント等と併せて、入場無料の日も設定している。 ② 特別観覧席の料金の取り扱いについて、今後、検討すべきである。
			手荷物預りの有料化(人件費との均衡、ロッカー化)		○	① 手荷物預りは、1階、案内所でのファンサービス(無料)の一環として行っており、サービスの低下とならないような配慮が必要である。 ② 現在、特別観覧席にロッカーを設置しているが、一般の観覧席においても、ファンの要望等があれば設置についての検討が必要である。
			駐車場の有料化		○	① ファンサービスの低下にならないような配慮が必要である。 ② 使用していない駐車場(借地)の返還についても検討が必要である。
			冠レースの料金体系	○		宣伝効果も考え、法人(企業)の料金改定について、検討すべきである。
	5	きゆう舎、宿舎の家賃等、場内店舗の賃料の見直し		○	建築後、相当の年数が経過しているものの、維持補修等に多額の経費を要していることから、現状での料金改定(引き上げ、引き下げのいずれも)には慎重を期すべきである。	
	6	競馬以外における収益の確保	場内における農産物、海産物、その他商品販売による収益		○	① 現在、誘客の一環として、地元業者等に物販場所を提供している。 ② 金沢競馬場が直接販売を行って収益を確保しようとする場合、地方公共団体としてどのような手法があるのかなど、十分な検討が必要である。
			野外コンサート等のイベント開催に転用(使用料収入の確保)		○	非開催日であっても、馬への刺激を与えないという条件の中で、どのようなイベントであれば可能なかの検討が必要である。
7	競馬場改革〇年計画等を立てる。(関係諸団体間での情報共有、十分な協議)		○		① 本検討委員会で振興策や経営改善策について検討中であり、その検討結果を踏まえて検討すべきである。 ② これまでも、関係諸団体とは金沢競馬連絡協議会を設けて協議し、情報を共有しており、今後も継続して実施すべきである。	
8	第三者による経営診断の実施		○(一部)	○(一部)	本検討委員会においても、様々な角度から検討を行うこととしているが、更に経営専門機関によるアドバイス等を得ることも検討すべきである。	
9	パチンコ等と比較して、競馬そのものの魅力、おもしろさを広く掘り起こす。(競艇の集客力に比較して、競馬が劣後する理由の究明)		○		これまでも、理由の究明に努めているが、明確な理由を見いだすには至っていないのが現状であり、更に検討すべきである。	
10	小さな改善・コスト削減の積み重ねだけでなく、大胆な増収策を打ち出せるかがポイント		○		コスト削減には、限界があると考えており、収益増を図る抜本的な改善策を早急に検討すべきである。	
その他	1	他主催者との相互協力の強化(ブロック化の可能性)		○	① これまでも、場間場外発売等で相互協力をしている。 ② 北陸・東海・近畿地区ブロック化推進研究会において、競馬場の立地的要素を含めて、ブロック化に伴うメリット・デメリットについて検討しており、今後も継続した検討が必要である。	
	2	きゆう役員等の生活を保障することを考えるべきではないか。(生き甲斐のある職場作り)		○	① 主催者は、基本的には保障すべき立場にはない。 ② しかしながら、競馬開催に欠くことができない関係者に対しては、売上げが減少傾向にある中で、どのような形での対応が可能か十分な検討が必要である。	